

令和7年度 学校評価報告書

相生市立若狭野小学校

1 教育目標

心豊かにたくましく、自ら学び、ともに育つ ～学ぶ楽しさ、出会う楽しさ、わくわくハッピースマイル 若狭野小～

2 学校経営基本方針

- (1)協働体制を確立し、学校教育目標も実現に向け積極的に教育実践に取り組む
- (2)PDCAサイクルを生かし、より質の高い教育活動を構築する
- (3)意欲的に研修に励み、授業力及び専門職としての資質向上を図る
- (4)児童と教職員が生き生きと輝くため「働き甲斐のある職場づくり」を推進する

3 重点努力目標

- (1)確かな学力の育成
- (2)豊かな心を育む道徳教育、及び学級・仲間づくりの推進
- (3)健やかな心身を育む環境づくり
- (4)広聴・公聴を大切に、家庭・地域(社会)と連携・協働した教育活動の推進

4 自己評価 ○=児童への質問 □=保護者への質問 ◇=職員(主に教員)への質問

領域	項目	質問内容	アンケート結果 (肯定的割合%)			分析および改善点
			児童	保護者	教職員	
確かな学力	学習指導	○私は、授業がわかりやすいと思う。 □子どもは、授業がわかりやすいと言っている。 ◇授業がよくわかるように工夫している。	97 ↑2	90	100	○教員は、児童に確かな学力を身に付けさせるために、学習計画を綿密に立て、必要となる教材・教具を作成・準備したり、必要に応じてICTを活用したりすることで、「分かる授業」の構築に努めた。 ●家庭学習においては、タブレットを使用した課題を出す等工夫した結果、児童が家庭でも自ら学習に取り組む意識が高まった。児童の家庭学習の習慣化をより図れるよう、適宜、保護者へ手立てなどの助言を行っていきたい。 ●学級活動の時間をはじめ、全ての教科指導においてキャリア教育の視点と関連付け働きかけてきた。こうした学校での取組を保護者により周知を図り、家庭でも考え話し合う機会を促していく。 ○前年度に引き続き、生活科・総合的な学習の時間・国語科の時間を中心に音声言語(発表)や文字言語(書くこと)を通し、児童の考えや思いが表出しやすくなる取組を進めてきた。児童の文章を書くことに対する抵抗感が減少し、継続した取組の成果が伺える。
		○私は、家で勉強している。 □子どもは、家庭学習の習慣が身につけている。 ◇子どもたちに自分から学ぼうという気持ちや家庭学習の習慣が身につくよう指導している。	82 ↑4	89 ↑2	92 ↓4	
		○私は、将来の夢がある。 □子どもと将来について話をよくする。 ◇将来を見据えた指導に取り組んでいる。	84 ↓1	79 ↓6	100 ↑5	
	言語活動の充実	○自分の思いや考えを発表できるよう努力している。 □子どもは、すすんで自分の思いや考えを伝えている。 ◇授業で思いや考えを伝え合うように仕向けている。	95 ↑7	84 ↓1	91 ↓9	
豊かな心	生活習慣規範意識	○私は、ルールやマナーをしっかりと守っている。 □子どもは、ルールやマナーが身につけている。 ◇ルールやマナーを身につけさせるように工夫している。	95 ↑2	95 ↓3	100	○ルールを守る、あいさつを行うことの大切さは、学校での統一的な指導や地域・保護者・教員による「あいさつ運動」により、児童に定着していることが伺える。 ●いじめ防止サミットの結果を受け、各学級や児童会において「いじめ防止」に向けた取組を主体的に行ってきた結果、児童の「いじめは許されない行動」である認識は非常に高まった。保護者の数値が下がったことに対する考えられる要因は、家庭での児童の言動等を気にされていることが考えられる。今後、懇談会等において保護者の思いを伺っていきたい。 ○いじめを許さない意識同様人権意識も向上している。本校は、少人数のため同学年だけでなく、異学年で関わる機会も多い。そのため、高学年は、低学年に優しく接し、困っている姿を見かけると助言したり助けたりする姿が多く見られた。そうした姿が下級生の行動規範にも良い影響を与えたことと考えられる。 ●生活科・総合的な学習の時間に積み上げてきた「地域のよさ」を伝える取組により、着実に「ふるさと意識の醸成」が図れたことが伺える。児童の日々の学習の様子や児童の学び・想いなどを学年通信等で保護者にもっと伝えるべきであった。
		○私は、よくあいさつしている。 □子どもは、よくあいさつしている。 ◇あいさつの大切さを説き、自らもあいさつしている。	97 ↑2	93	100	
		○私は、いじめを許さない行動ができている。 □子どもは、いじめを許さない行動ができている。 ◇個人を尊重し、いじめを生まない指導をしている。	95 ↑7	84 ↓14	100	
	人権教育 道徳教育	○私は、人にやさしくすることができる。 □子どもは、人にやさしくすることができる。 ◇生命や人権を尊重する心を育てよう工夫している。	97 ↑9	100	100	
	ふるさと意識	○私は、住んでいるまちのことが好きである。 □子どもは、地域のことを知ろうとしている。 ◇地域のよさを伝える指導をしている。	100	76 ↓12	92	
	保健・衛生	○私は、病気やけがをしないように気をつけて生活している。 □子どもは、病気やけがをしないように気をつけて生活できている。 ◇児童が健康に生活できるように安全管理や指導を行っている。	100 ↑5	87 ↓8	100	○昨年度同様、病気やけがの予防に対して、養護教諭の積極的な取組が継続され、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザによる学級閉鎖が少なかった。また、大きなけがをする児童も少なかった。日々の保健指導により、児童の病気やけがの防止に対する意識の高まりが伺える。

健やかな体	体力向上	○私は、体育の授業や「若小タイム」に熱心に参加している。 □子どもは、よく体を動かしている。 ◇児童が意欲的に体を動かし、体力が向上するように取り組んでいる。	97 ↑4	84 ↑4	100 ↑8	○「若小タイム」や「できたよ週間」での運動技能向上に向けた取組に加え、運動会やマラソン大会において個人の目標をもたせることで、日々の学校生活において自ら運動に取り組む児童の姿が多く見られるようになった。
	食育	○私は、感謝して好き嫌いなく食事をしている。 □私は、食育に関心がある。 ◇食に関する教育を行っている。	92 ↓1	63 ↓12	100 ↑10	●日々の給食指導や食育により、好き嫌いなく食事を摂る習慣が定着している。また、年間を通じ、欠席者も少なく健康的な心身が育まれている。保護者の食育に対する関心が低いようなので、保護者向けの学習会・PTA講演会などを実施し、意識を高めていきたい。
学びを支える体制	教職員の資質向上	◇自らの資質の向上を意識して努力している。			100 ↑4	○授業公開と事前研修、事後研修を行う中で、自分の授業で活かせるポイントを見つけ、取り入れながらお互いに成長することができた。
	教職員の働き方改革	◇業務の効率を高める工夫をしている。			100 ↑8	○行うべき業務において、単独で行う内容と同僚と協力して行う内容を上手く選別し、効率よく取り組むことができた。また、スクールサポートスタッフの有効活用も図れた。
	連続性ある学校づくり	□私は、学校だより等により教育活動の様子をよく知っている。 ◇学校での取組の意図や様子を家庭や地域に伝え、説明責任を果たしている。		97 ↑2	100 ↑12	○従来の学校・学年だより・ホームページに加え、本年度は、学校だよりの臨時号を発行した。定期的なPTA会議等の機会において、新聞記事等を媒介に、意図的に保護者・地域の方へ児童の学校での様子を伝える機会を増やした。
		□私は、地域の幼稚園・小中学校が協力して教育活動を行っていると思う。 ◇学習活動や不登校など生徒指導において、地域の幼稚園・小中学校と連携した教育をしている。		84 ↑1	92 ↑4	○既存の交流事業（幼小・小小・小中）の内容の精査を図り実施した。また、統合を視野に、青葉台小学校との交流事業を新規に立ち上げ、4月からの新しい環境に向けた児童への心のケア（期待・希望・安心）を図った。
	学校安全防災教育	○私は、危険から身を守って過ごしている。 □子どもは、学校で危ない目にあうことなく過ごしている。 ◇児童の安全に気を配り、危機回避を指導している。	100 ↑2	100	100	○各学年での安全・防災に関する学習や学期毎にテーマ・内容等を変えた避難訓練を行ったことで、児童にまずは「自分の命は自分で守る」といった意識の醸成、その時々での適切な対処方法を身につけさせることができた。
生活指導専門機関等連携	○私は、困ったとき、何でも話せる人がいる。 □私は、困ったとき相談できる人がいる。 ◇児童の悩みや相談に親身に対応し、必要時には専門家等と連携を取っている。	95 ↑17	95 ↑2	100	○何でも話せる心の拠り所・居場所となる存在を持っている児童が多数いることが伺える。保護者・学級担任の他、養護教諭・様々な加配の教師・地域の方々と組織的な連携を図って児童に関わってきた成果と言える。	
教育環境	学校の雰囲気	○若狭野小学校は、明るくて楽しいと思う。 □学校は、全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。 ◇全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	98	100 ↑2	100	○学校・学級をあげ、通うことが楽しい学校づくり、児童の居場所作り、絆感・連帯感の醸成に努めた結果が伺える。また、楽しい中にも学びや団結・協力が必要な活動を、日々の委員会活動や児童会行事において意図的に実施してきた。
	環境整備	□学校は、教育環境が整備されている。 ◇教育環境が整備されている。		90 ↑2	57 ↓7	●施設・設備に関しては、日々危険箇所はないか全職員で注視していくと同時に、引き続き教育委員会とも連携をとり、施設・設備の改修にあたっていきたい。

★数値は、A（あてはまる）と B（おおむねあてはまる）の合計のパーセント表示

★青文字＝AとB評価合計が95%以上 赤文字＝AとB評価合計が85%以下

★↑5・・・前年度より5パーセントアップ

↓5・・・前年度より5パーセントダウン